

The
50th
Years

岩室リハビリ
テーション病院
開院50周年



〈特集〉

リレールレポート ベテラン専門職の

入院患者を支援する

vol.3

51年目に向けた
私の挑戦!!



リハビリテーションの イメージをくつがえす、進化した リハビリ研究への挑戦!!

私たち医療従事者にとって、人との関わりが深い
ため、お互いを尊重し合いながら仕事を行なっていく事
が大切と思っています。岩室リハビリテーション病院
は、多職種との連携が強く、同職種以外でも相談しや
すいスタッフばかりなので、多角的に検討できることが
強みです。

専門職なので、知識・技術の獲得や習得はベテラン
になろうとも、生涯学習の姿勢で取り組んでいます。

リハビリテーションは、理学療法・作業療法・言語聴
覚療法の3つに分かれており、それぞれ専門分野があ
ります。「違いは何?」と聞かれることも多く、一般的にイ
メージされるリハビリテーションは、歩く練習やベッド
から起きる練習など、ざっくりしている感じがします。

リハビリテーション病院で働いている以上、そのイ
メージを超えるものを提供していきたいと考えていま
す。そのために、今年度のリハビリテーション部運営目
標に「研究を行う」を挙げました。

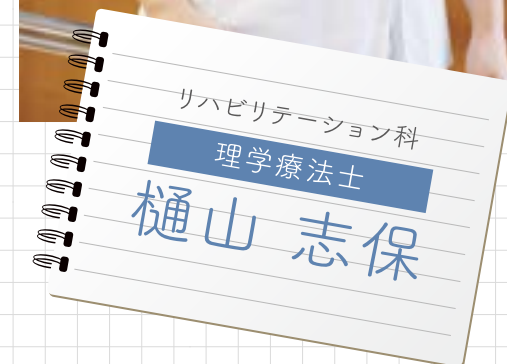
経験年数があるほど経験値に頼りがちになります。
経験値も大切ですが、専門職として臨床データの収集・分析を行い、その結果をもとに、統計学的データも
用いて入院患者様や入所者の方の機能や日常生活動作の改善につなげていきたいと考えています。

臨床データの収集・分析能力を高め、経験値と照らし合わせ、客観的に具体的にリハビリテーションが
提供できるように、業務にあたっていくことが目標であり、挑戦です。

- 「ひ」一人でないことを思い出して
- 「や」やるべきことは今ここに全力を尽す事
- 「ま」まっすぐに自分の人生の主人公として
- 「し」失敗のない人生はチャレンジのない人生
- 「ほ」冒険こそが人生の醍醐味!

岩室リハビリテーション病院を利用されるすべての方たちの笑顔を少しでも多く引き出せるように、全力
で支援していきます。

PROFILE 長岡市出身です。漫画本を読んでリラ
クス、夜更ししないのが健康法です。



感動していただけるメニューづくりで 幸せを感じる食事、 食の楽しさをお届けする!!

私が所属している栄養管理科では「食事を通じて、患者様、利用者または関わる人々に幸せを届ける」を理念に、栄養士と調理師で協力しながら、安全で美味しい食事を提供する事を目標に頑張っています。

私は平成22年に人間ドック施設から異動してきたため、同じ職場でしたが病院業務について知識がなく、驚くことばかりでした。その中でもすぐれた点は、看護師・介護士・リハビリ・薬剤師・栄養士で話し合える環境が整っていて、患者様の状態を良くするために協力し合えることでした。

食事内容を他職種から相談されることも多く、患者様に合わせた対応をして栄養状態が良くなり、回復する様子が見られるとやりがいを感じました。

私の仕事での挑戦について考えてみました。今年度、岩室リハビリテーション病院は介護病棟が介護医療院に変わり、変化の年になりました。介護医療院は利用者の年齢層が高いため、食が細くなる方が多い傾向にあります。栄養状態を良くするために食べていただきたいのですが、量が摂れないというジレンマに陥っています。その中でも利用者の嗜好に合わせ、家族の希望に寄り添った食事の提供ができるようにしていきたいです。

もう一つの挑戦は、今年度から献立業務を担当することになり、新しいメニューに挑戦したいと思います。食事を楽しみにしている方も多く、塩分が控えめでも「美味しい」と言っていただけるような食事を目指したいと思います。学生時代から献立作成が苦手でしたが、栄養管理科にはベテラン調理師も多いのでアイデアをもらいながら協力して、進めていきます。

今年度は人間ドック施設から異動して最初に行った業務を久しぶりに行うため、原点回帰の年になりました。あの頃には気づかなかった事や出来なかった事も今ならできるようになったと思います。「さすが、ベテラン」と言われるように頑張ります。

PROFILE

新潟市出身です。飼い猫と遊んでリラックス、健康法はウォーキング(始めたばかりで続くのか心配ですが…)。



安全かつ有効な 薬物療法支援を行い、時代と ともに歩む薬局をめざす!!

薬剤師の仕事は『処方箋をもとに調剤し、薬の説明を行う』というイメージが強いと思います。しかし、実際には皆さんが想像している以上に様々な業務を行っています。

たとえば、医薬品の供給管理も大事な業務です。新型コロナウイルスの影響で手指消毒薬不足の際には、高濃度アルコールを調製して薬局内で手指消毒薬を作りました。また、頻繁に更新される医薬品情報を精査・加工して必要な職種・部署に届けています。

さらに、不幸にも副作用が起こった場合は、国や製薬会社に報告することで添付文書の改訂に繋げる情報提供活動にも協力しています。

さて、当院ならではの業務として回復期リハビリテーション病棟の患者さんに対する薬物療法支援があります。

主病名が脳卒中や骨折であっても、大半の方が背景に様々な疾患をもっています。複数の疾患があればあるほど、多剤併用、長期投与となり、加齢による薬物動態変化なども影響して、薬物有害事象が起こりやすい環境となってしまいます。

そこで、私達薬剤師は腎機能や年齢にあった薬の量や代替薬の提案、服用しやすい剤型や用法を提案することで、薬物有害事象が起こりにくい環境を整えています。

患者さんの薬による治療は、退院後も続きます。当院で提供してきた安全、かつ有効な薬物療法を退院後も行えるよう、患者さんの薬の調剤・管理をしていただく保険薬局に対して薬剤サマリを活用した情報の提供を行っています。

新潟県内では、病院と保険薬局との薬剤サマリを活用した連携はなかなか実現されていませんでしたが、当院の特性上いち早く取り組むべき課題と考え、昨年より実施しています。

今後は保険薬局との連携を強化し、退院後も安心して薬を使用することができるような環境の整備に努めていきたいです。さらに、各種ガイドラインや国の制度変更に敏感に反応し、生涯自己研鑽を続け、地域にとって頼りにされる病院の薬局を目指していきたいと思っています。

PROFILE 新潟市出身です。気分転換に身のまわりの片づけや掃除をします。食べ過ぎ、飲み過ぎは避けるようにしています。軽い筋トレも始めました。



仕事や人とのつながりを通じ、 今日一日を大切に 前に進むことを次世代へ伝える!!

はじめに、私の仕事や生き方の指針になっている人物の言葉を紹介しします。

ご存知の方も多いと思いますが、京セラやKDDIを設立した稲盛和夫氏です。稲盛氏は仕事について著書の中でこう述べています。

『日々の労働によって心は磨かれます。私たちが自分の人間性を向上させたいと思ったとき、そこに難しい修行など必要はなく、ただ、普段の暮らしの中で自分に与えられた役割、それが会社の業務であろうと、家事であろうと、勉学であろうと、肅々と、倦まず弛まず継続していくこと。それがそのまま人格練磨のための修行となるのです。また、『努力を積み重ねれば平凡は非凡に変わります。人生とは「今日一日」の積み重ね、「いま」の連続です。今日一日をないがしろにせず、懸命、真剣に生きていけば、明日は自然に見えてきます。明日を懸命に生きれば一週間、一週間で懸命に生きれば一ヵ月が見えてきます…「いま」という瞬間に全力を傾注して生きることによって、その時見えなかった未来の姿がやがて自然に見えるようになってくるものです』。

長年これらの言葉に背中を押されながら、『私の仕事での挑戦』は、今日一日を大切に、少しずつでも前に進む事です。もちろん、後ろ向きになる日も多いですが。若い頃に思い描いた夢や目標、憧れていた先生や先輩や上司など、そうしたものに辿り着けたかと問われると…それはまだまだのようです。ただ、自分なりに努力してきた結果は自分の中に残ります。この先も前に進む事ができたら、最後は良い人生だったと思えるかもしれません。

仕事で悩み苦しみながらも先輩や同僚、後輩、そしてリハビリを担当させていただいている患者様から

多くの助言をいただき、ここまで成長させてもらったと思います。

人との繋がりが自分や周りを成長させ、次の世代に生かされていく。また、社会へ貢献できる喜びを噛みしめる事ができる。こうした恵まれた環境で仕事ができることに心から感謝しています。

PROFILE

新潟市出身です。リラックスしたい時は釣りに行きます(釣れなくても)。健康法はそばの実を食べることです。



リハビリテーション科
作業療法士
稲田 征男

看護管理者として高レベルの 看護サービスを指導、実践し、 当院に貢献する!!

岩室リハビリテーション病院に勤務してから二十数年が経ちました。夢中で日々の仕事をしている時は意識していませんでしたが今、振り返ると「私って、結構頑張ってきたかも!」と思う事も多々あります。

今年の4月から病棟の師長を任された私ですが、人前に立つことが苦手なうえ、スタッフを指導、管理していくことができるだろうか、周囲の期待に応えることができるだろうか、とても不安でした。

しかし、榎本看護部長から説得されて師長職を引き受ける決心をし、5ヵ月が過ぎようとしていますが、ようやく「師長」と呼ばれて返事をする事に慣れてきました。

病棟を異動してから師長になったので、師長業務を覚え実施することに毎日必死で、患者様をあまり把握できずに毎日が経過してしまいました。反省しながらも不慣れな仕事を行う私を気にかけて、サポートしてくださっている看護部長をはじめ、多くのスタッフに支えられているからこそ、師長としての仕事がどこおりにできていていると思ひ、感謝しています。

コロナ禍の影響で当院内でも患者様をはじめ、スタッフも含めた岩室リハビリテーション病院を守るための新型コロナウイルス感染症対策に、各科のリーダーが奮闘しています。どのような状況下、場面においても病棟での冷静で的確な判断、指示、指導ができるリーダーになり、チームをまとめていけるような師長になる事が目標です。

コロナ自粛で外部研修に参加できない状況にあることは、非常に残念です。私自身は現在、看護管理者を一から勉強しているところですが、自己研鑽し、スタッフとの信頼関係もより深めていきたいと考えています。

組織的な質の高い看護サービスを提供することによって岩室リハビリテーション病院が患者様に高く評価され、当院の理念である「私たちが関わる人々に笑顔のある生活を!」が実感されるように師長として日々精進し、貢献していきたいと思ひます。

PROFILE 長岡市出身です。夫とおいしいものを食べる行ってリラックスします。ストレスをためないのが健康法です。



看護科
看護師
松永 美奈子